

学校点描

K町交通安全母の会会長のM様より1年生に夜光反射材（サイクルキヤップ）をいただきました。

《K中学校》

NO.5 R2. 6. 09

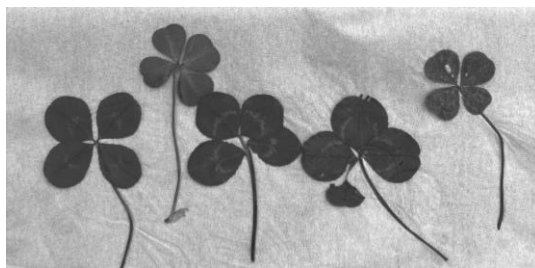
担当：校長

生徒会の対面式が終わってしばらく経った5月22日に、生徒会長のH・Yさんと校長室で面談をしました。K中にきたばかりのわたしにいろいろ教えてください。「どうして、生徒会長に立候補したの？」と聞くと、しっかりその理由を答えてくれる姿勢にたくましさすら感じました。

5月29日（金）は、今年度第1回の学校評議員会を校長室で行いました。学校評議員は、学校教育法施行規則という法律で定められている学校に設置する組織です。K中学校の学校経営に対して、外からの目でご意見をいただく会議となります。今年度の学校評議員は、K・Kさん、S・Sさん、T・Hさん、I・Mさん、T・Tさんに委嘱いたしました。一通り学校を通覧していただき、K中の現状をお話しした後、さまざまなご意見をいただきます。やはりコロナ禍への対応についてのご質問やご意見が多かったです。でも、生徒の落ち着いている状況を見て安心したという話もいただきました。第2回の会議は10月24日の合唱祭の日となります。

出生（しゅっしょう）

朝は、生徒の登校状況を見に外に出ていきます。途中、クローバーの群生の中から四つ葉のクローバーを探したりします。だいたい一日に1つのペースで見つけることができました。やっぱり、見つけるとうれしいですね。四つ葉を見つけやすい人と見つけるにくい人とがいるそうです。それは、「ここに四つ葉があるはずだ」と考えられる人と、「ここに四つ葉なんてあるはずがない」と疑って探す人との違いです。あいさつを交わしながら、すれ違う生徒に、四つ葉を見せるとにっこり笑顔で「四つ葉探していたんですね」と答えてくれます。「日陰に多いんですよ」なんて、一人の女子生徒がわたしに教えてくれました。



僕は、6か月から3歳になるまでのまだ言葉が話せないとき、何度も高い熱がでました。それは、夜中だったので、近所の人に電話をお願いすると迷惑をかけるので、父が医者に行き「子どもを診てほしい」と紙に書いて頼んだこともたびたびあったそうです。

愛知県中学1年 山崎 一（はじめ）

ある教育団体がこの作文を書いた中学生に話を聞いた記事が新聞に載っていました。

わたしは、生け花については、まったくの門外漢ではありますが、どうも、生け花の世界に「出生（しゅっしょう）」ということばがあるということを、ある書物から教えてもらいました。それ

ぞれの花材がもつ、その花独特の特性のことをそういうのだそうです。生け花について、詳しい方には当たり前の話になるかもしれませんが、花を生けるときは、竹のようにまっすぐなものはまっすぐに、力強い性質が最大限に引き立つようにしなければいけません。その一方で、コスモスのように茎が細く、風に揺れるような花を生けるときは、その性質を最大限に引き出して、可憐さをよりやさしく見せなくてはならないそうです。

この生け花の出生（しゅっしょう）を、中学生で見ると、体を動かすことが得意だったり、動くのが苦手だが文章を書くのが得意だったり、イラストが上手だったり、そういうものと重なる気がします。生徒会長のH・Yさんは、「わたしは、学校の課題に取り組みたいなと思って」と立候補した動機を話してくれました。誰もが思えるものではありません。学校とは、生け花のように、生徒一人ひとりが、その良さを一生懸命輝かそうとする場であるべきです。自分の得意技が生かされる学校では、生徒は生き生きしていますし、美しく見えます。花の持つ“出生（しゅっしょう）”が生かされて最もきれいに見えるのに似ています。一方で、大人の私たちも、子どもに負けない今を精一杯生きる姿勢が必要なのだと思います。

お母さんの耳になりたい

愛知県中学1年 山崎 一

僕は6か月から3歳になるまでのまだ言葉が話せない時、何度も高い熱が出ました。それは、夜中だったので、近所の人に電話をお願いすると迷惑をかけるので、父が医者に行き「子どもを診てほしい」と紙に書いて頼んだこともたびたびあったそうです。

僕の両親は、聴覚がないのです。

でも、僕は父と母が自分を育てるときにどんな苦労があったかは、知っているつもりです。僕は、たとえ耳が不自由でも、今の両親を一番尊敬しています。（以下省略）

親だって、四つ葉のクローバーと同じです。その場でしっかり咲いていれば、隣の子どもには見えなくとも、我が子には自慢の親に見えているのです。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

メールでご意見をいただいても構いません。 Shinyatk1616n@yahoo.co.jp